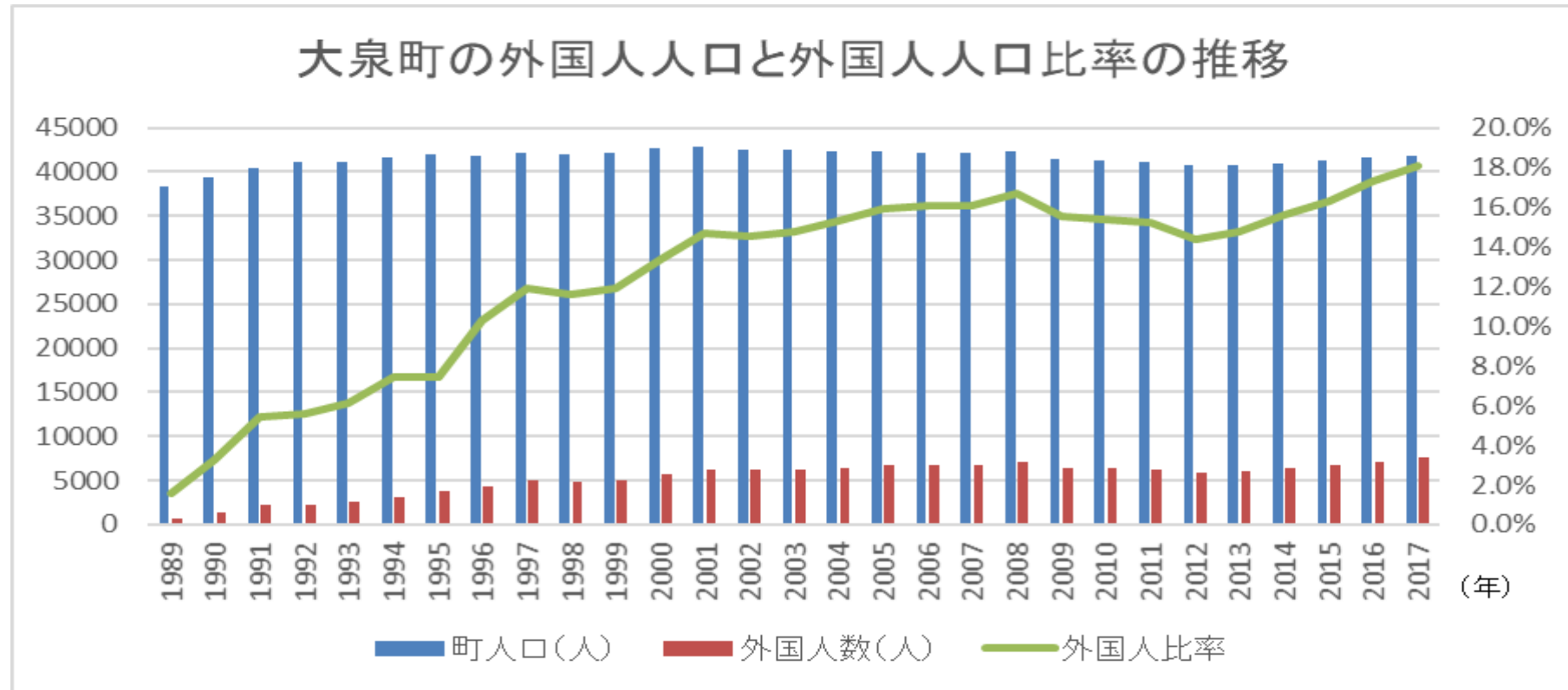


はじめよう多文化ソーシャルワーク  
第2回 10/16

# 群馬県大泉町の多文化保育の紹介と 母語教育の重要性について

足利短期大学こども学科教授・NPO法人わくわく広場の会副理事長  
佐々木 由美子

# 多文化地域として早い段階から注目された群馬県大泉町



(<https://www.town.oizumi.gunma.jp>人口統計より作成)

2020年7月31日現在の外国人人口比率  
19.1% (8,004/41,976人)

国籍：約50か国

# 大泉町の認可保育園（地域6園）の外国籍児の割合

全ての園で外国人児童を保育

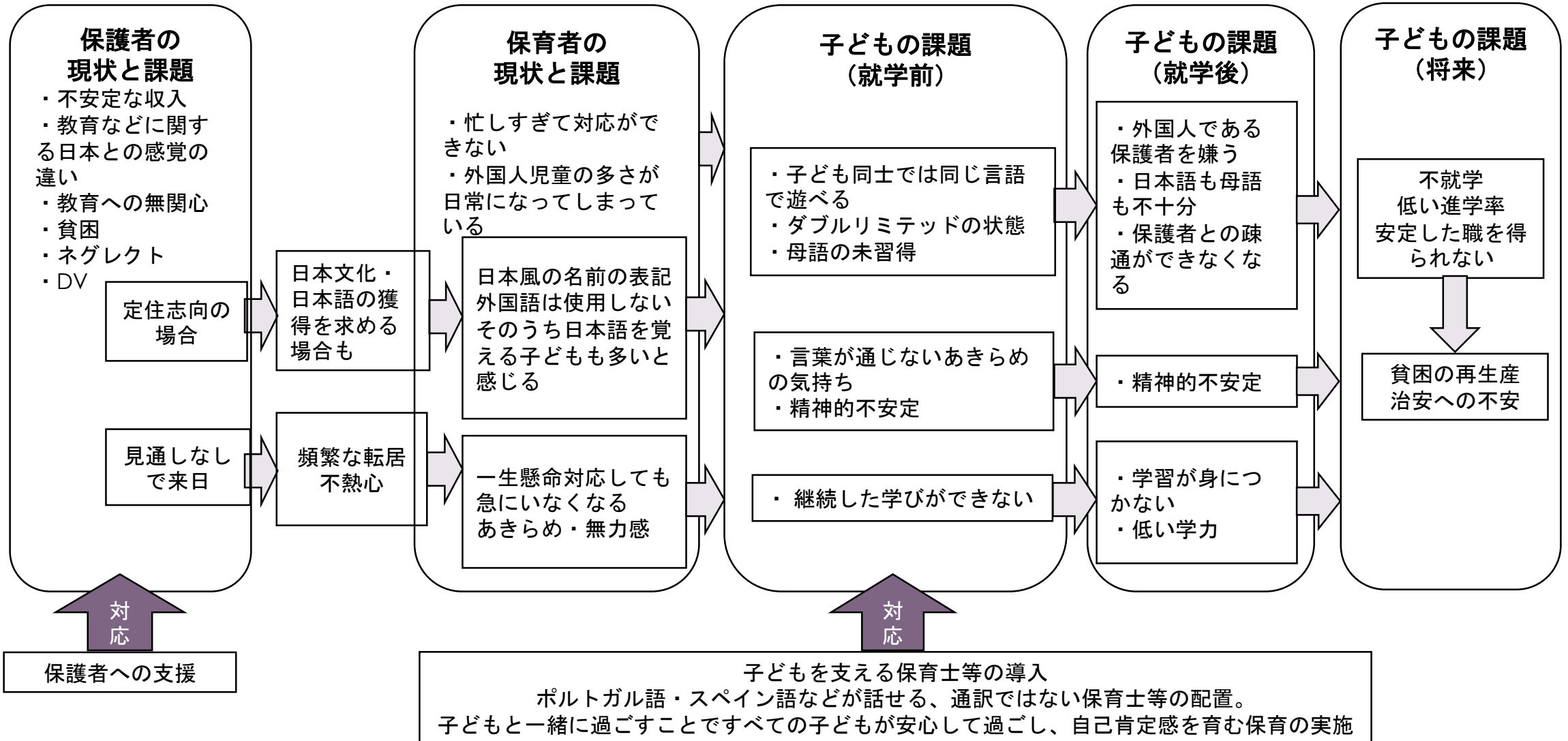
外国籍児の比率20%前後で推移、  
集住地域では30%ほど

※外国文化で育つ子ども、外国ルーツ  
の子どもを含めると更に多い



佐々木が担当する授業の様子（多文化保育）

# 大泉町の多文化共生保育



## 大泉町で働く外国籍保育士



大泉町には現在3名の  
外国ルーツの保育士が勤務

## 母語を介した保育支援



媒介者としての役割を果たす

外国籍児・保護者に安心感を

外国籍児の保育園適応を促進

# 外国籍保育士の取り組み

外国籍児の代弁者



外国人保護者との信頼関係の構築

外国文化や言語の普及



# 単語表

## ポルトガル語 Portugues

持ってきて下さい。	→ Trazer	明日	→ Amanhã
Tシャツ	→ Camiseta	昨日	→ Ontem
Bermud	→ bermudas	今日	→ Hoje
くつ下	→ Meias	〇〇時	→ 〇〇 Horas
パンツ	Cueca calcinha	お願い	→ Por favor
歯ブラシ	→ Escova de dentes		
バスタオル	→ Toalha de banho		
タオル	→ Toalha	ありがとう	→ Obrigado
靴	→ Sapatos	ごめんなさい	→ Desculpe
はし	→ Hashi	食べる	→ Comer
コップ	→ Taça	食べて	→ Comer
ご飯	→ Arroz	早く	→ Cedo
お風呂	→ Banho	遅く	→ Tarde
熱	→ Febre	朝	→ De manhã
暑い	→ Quente	昼	→ Meio dia
寒い	→ Frio	夜	→ Noite
	痛い? → Doi?	薬	→ Medicina
	頭 → Cabeça	靴	→ Calça
	お腹 → Barriga		

# 保育園新聞のコラム

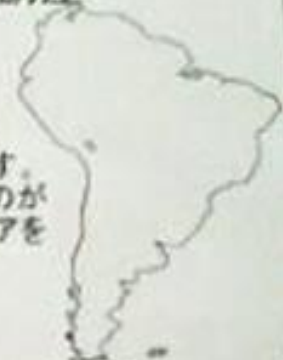
## 先生のポルトガル語&スペイン語講座

今回からはじまりましたミニ講座。少しずつ言葉を勉強しながら、ブラジルやペルーの事も知っていかれたらと思っています!! よろしくお祈りしま〜す。

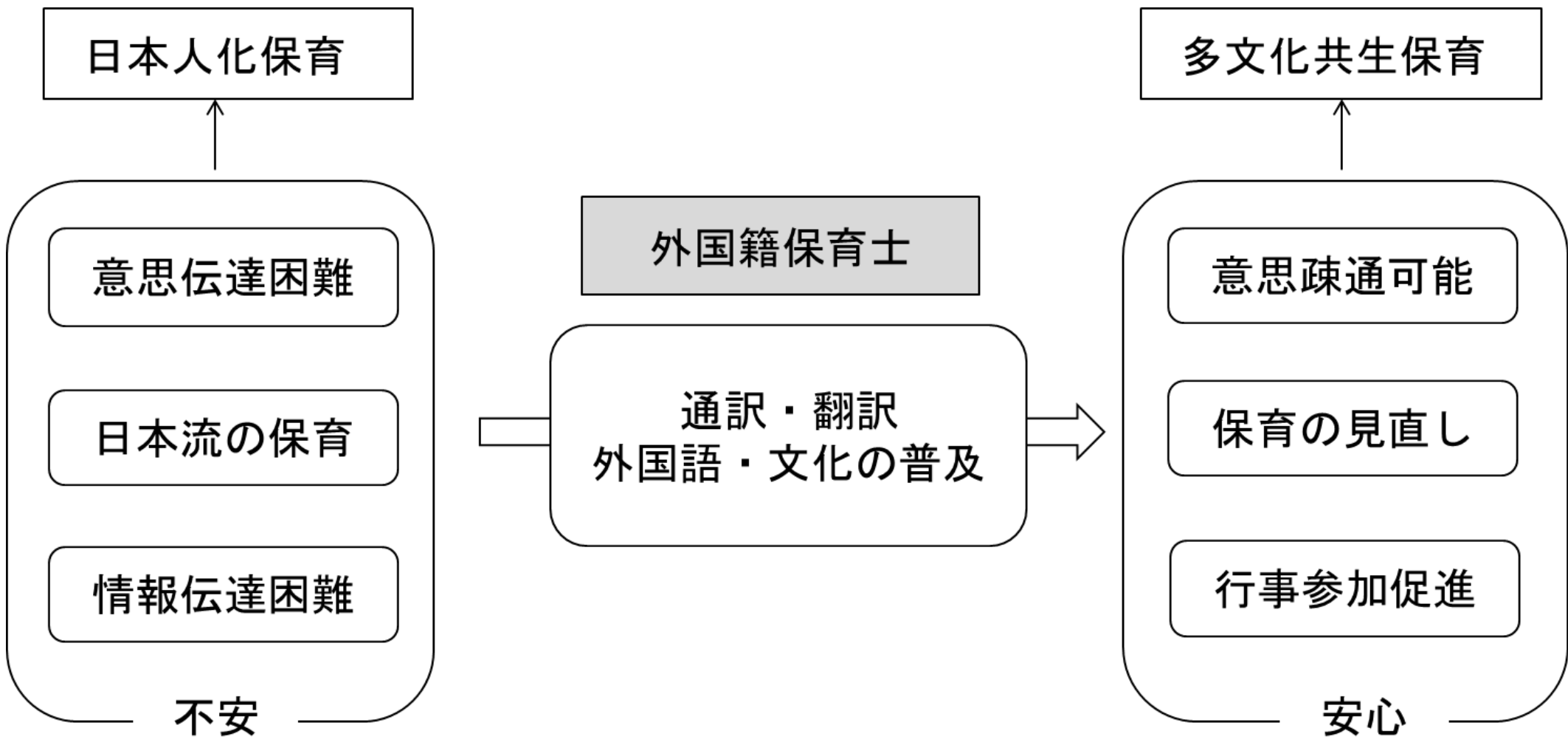
中南米では、ポルトガル語を話すのはブラジルだけって知ってました? 31カ国もあるんですが、ブラジル以外の国ではスペイン語を話します。全国最多の在日ブラジル人、ペルー人が密集するエリアとして有名なのが大泉町・太田市なのです!! 人口の16%がブラジル、ペルー、ポリビアを中心とした南米からの移住者なんです!!

〜 あいさつ編 〜

ポルトガル語	スペイン語
ボン dia	ブエノス dias
Bom dia! おはようございます!	Buenos dias! おはようございます!
ボア タルデ	ブエナス タルデス
Boa tarde こんにちは	Buenas tardes こんにちは
オブリガード	グラシアス
Obrigado ありがとう	Gracias ありがとう



# 日本人化から多文化共生へ





# 外国籍保育士・周辺化された自分から当事者へ

## 《媒介者としての自分》

子どもの気持ちがわかる  
子どもの気持ちを代弁できる  
母語が役に立つ  
自己効力感

## 《周辺化されている自分》

日本語が理解できない  
学習困難に陥る  
いじめを受けることがある  
不登校・不就学  
学校には頼れない  
両親に不満を持つ  
外国人である自分を否定する

要因作用

変容

## 《当事者としての自分》

保育者になりたい  
保護者と保育者の媒介者  
子どもの困難克服の一助  
母国の文化を伝えたい  
子どもの意欲を促進  
子どもの進路選択を拡大

# 大泉町多文化保育研究会

2014年 立ち上げ

大泉町において、保育の場と保育者養成校や研究者が連携する組織づくりを目的としている

年1回開催されるシンポジウムにおいて多文化共生保育の課題や成果等を共有し、より良い保育のあり方を検討している

保育園・幼稚園で働く外国にルーツを持つ先生による外国人の保護者と子どもの保育への取り組みについての話題提供

第4回シンポジウムでは、言語習得、特に母語の重要性について議論を行った

## 第5回シンポジウムの様子



## 5歳までのしつけや環境が人の一生を左右する (Heckman)

- 乳幼児期の母語でのコミュニケーションが十分に取れなかった子どもは、のちに自己や他者の思考を理解することが困難になる (Peterson and Siegal, 1995)
- 幼児教育を受けた子どもたちは、受けていない子どもたちと比べ、その後の学力や所得等の向上、犯罪率の低下がみられる (Heckman , 2006)
- 健全な母語の獲得と社会認知機能は発達的に強い関連がある (Milligan,Astington,Daek, 2007)
- 非認知能力 (社会情動的スキル) を身に付けた方が、将来の経済的な安定も含め心身の健康につながる可能性が高い (OECD, 2015)

## 言語習得に大事な時期（臨界期）

幼児期に母語のレベルが年齢相応まで到達しなかった子どもは、小学校に入学したときにはすでに学習のレディネスを欠く（中島 2010）

6歳までは確実に言語を獲得できるが、それ以後は確実性が徐々に薄れ、思春期を過ぎると完璧にマスターする例はごくまれになる  
（Pinker 1995）

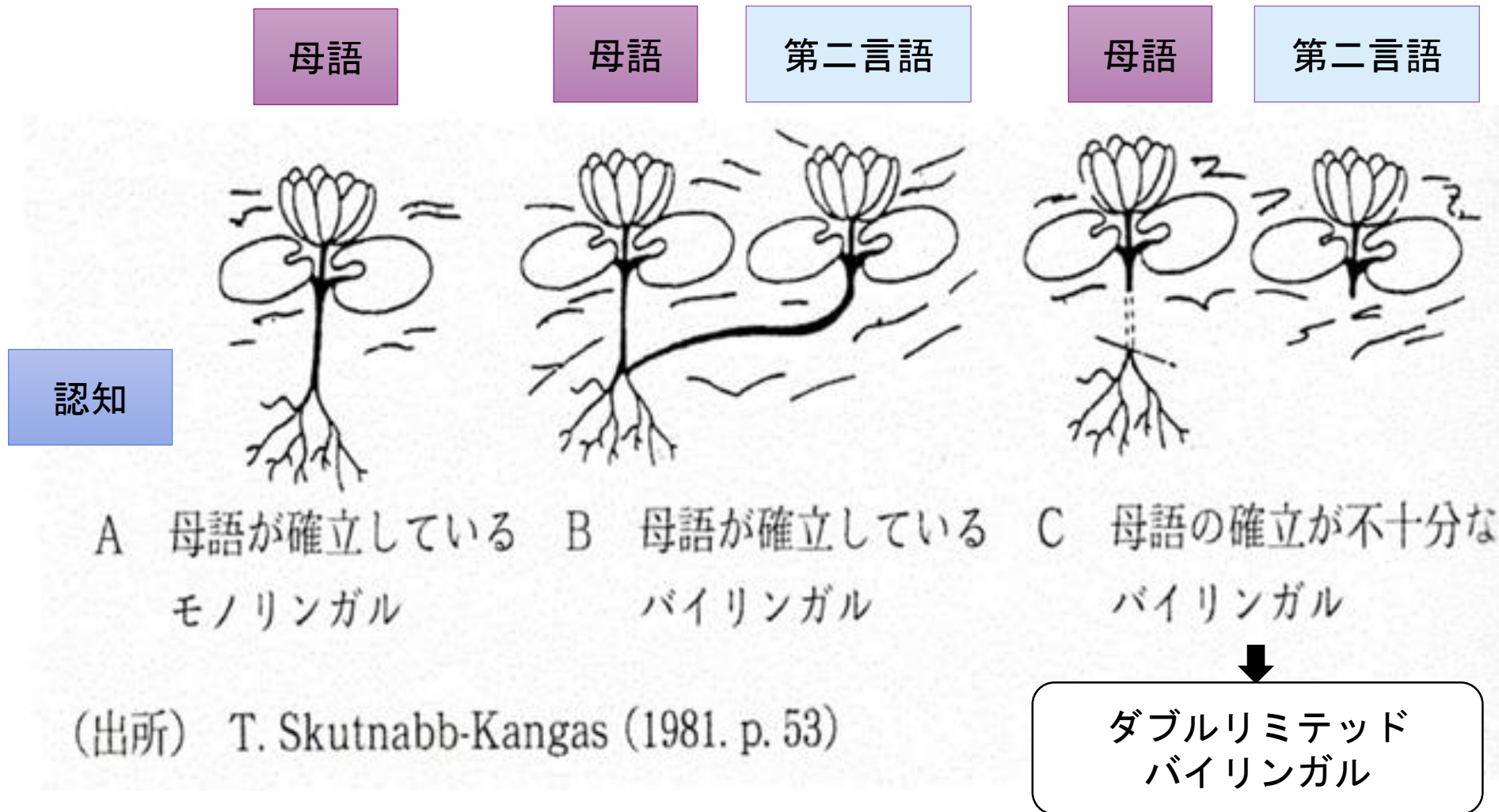
適切な母語教育は就学前に行うべき

## 母語教育の重要性

学習面において母語と第二言語の発達は相互依存し、母語による学力向上を行いながら、第二言語を習得することは、学習者の言語能力全体を伸ばす（Cummins 1989）

母語能力が確立されていない時期に、第二言語のみによる学習を行うと、基礎的な認知能力の発達に不可欠で重要な言語システムを破壊する（太田 2010）

# 母語と第二言語の関係



# 2言語と知的発達の関係



言語環境

2言語とも年齢相応  
バランス・バイリンガル

両方OK！おうちでの出来事を日本語で先生に、園での出来事をポルトガル語でママに！

1言語のみ年齢相応  
ドミナント・バイリンガル

日本語では色々説明できるけど、ポルトガル語ではちょっと難しい...

2言語とも年齢に達しない  
ダブルリミテッド・バイリンガル

両方とも簡単なやり取りのみ、自分の気持ちが誰にもうまく伝えられない...

OK  
+

様々なことを考える力、問題解決の力を獲得

知的発達への影響

NG  
-

小学校以降の学習についていけなくなる...

## ダブルリミテッド・バイリンガルの問題点

学年が進むに従って日本語による教科学習について行けない

アイデンティティは、日本と母国社会のどちらにも属することができず、不安定な人間形成になりがち

子どもの日本語能力も十分でなく、帰国して教育を受けるための母語も十分でないことにより、貧困が子ども世代にも再生産される可能性



# 言葉をどう育てたらよいか



家庭では  
母語で

園では  
日本語で



# 大泉町立図書館における外国語の本（令和元年度）

蔵書冊数	外国語の本の冊数
132,703	2,964



ポルトガル語	スペイン語・英語など
約70%	約30%

絵本
465

年間貸し出し冊数
971

ご清聴  
ありがとうございました

